

# 川辺町公共施設等総合管理計画改訂版の概要

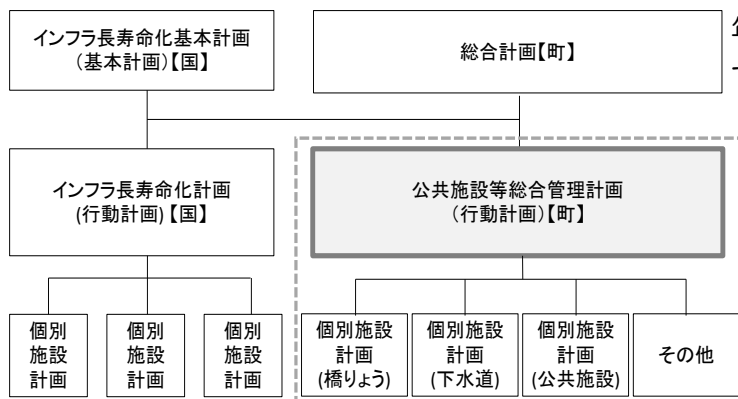
## 1. 概要

### (1) 計画策定の背景

本町では、公共施設及びインフラ資産（以下、公共施設等）の老朽化、少子高齢化等の社会情勢の変化、厳しさを増す財政状況に対応するために、平成 28 年 3 月に「川辺町公共施設等総合管理計画」（以下、総合管理計画）を策定し、公共施設等の状況を適切に把握し、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、適正な配置の実現に向けて取り組んできました。

### (3) 計画の位置付け

本計画の位置付けは下図のとおりです。



公共施設等の保有量

区分		保有量	
公共施設		延床面積	45,775 m <sup>2</sup>
インフラ資産	道路	道路面積 道路部	776,754 m <sup>2</sup>
	橋りょう	橋りょう数	115 橋
	上水道	管路延長	119,656m
	下水道	管路延長	135,813m
	公園	9 箇所（公園面積：130,177 m <sup>2</sup> ）	

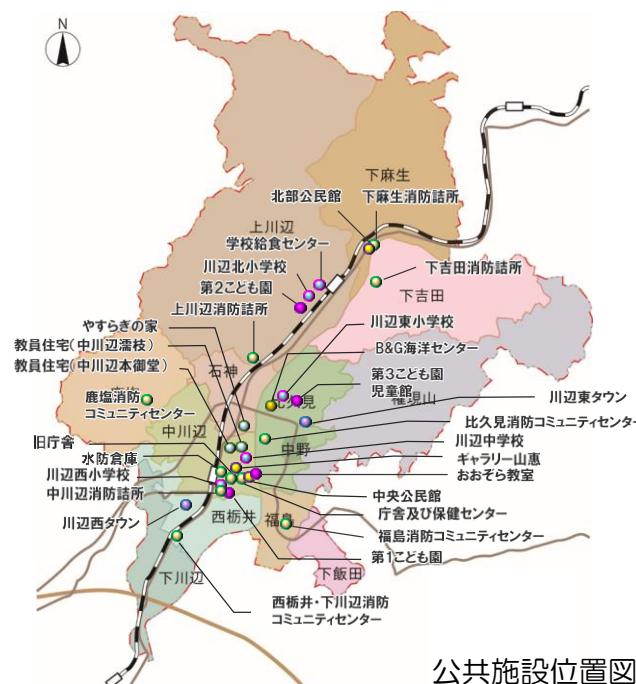
### (2) 改訂の目的

公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する取組を一層推進するためには、個別施設の具体的な取組方針や対策を定めた個別施設計画を総合管理計画に反映させ、継続的に見直し・充実させていく取組が重要です。

本町においても、個別施設計画の策定が進み、総合管理計画の策定から一定期間が経過したことから、総合管理計画を見直し・充実させるための改訂を行いました。

### (4) 計画期間

本計画は、令和 4 年度から令和 13 年度までの 10 年を計画期間とします。なお、社会情勢等を踏まえて、計画期間途中にも適宜見直しを図ります。



公共施設位置図

## 2. 公共施設等に係る課題

### (1) 人口

本町の人口は、人口減少が進行し、2040 年時点では約 9,100 人と推計されています。また、人口構造の変化に伴う公共施設の利用ニーズの変化や少子高齢化に伴う扶助費の増加による財政圧迫、若い世代への財政負担の増加等が懸念されます。

### (2) 公共施設等の老朽化

公共施設等は老朽化が進行しており、今後、公共施設等の更新等の時期が集中して訪れると、財政圧迫も想定され、更新等が困難な施設が生じるなど、老朽化に伴う公共サービスの質の低下等も懸念されます。

### (3) 公共施設等の更新等の費用

公共施設等の老朽化に伴い、大規模改修・更新（以下、更新等）に要する費用は下表のとおりであり、直近 6 力年の投資的経費の平均である 10.2 億円を 1 年あたり約 1.3 億円上回る想定となります。

区分	2021 年度～2054 年度 までの更新等費用	1 年あたりの 更新等費用（平均）
公共施設	141 億円	4.2 億円
インフラ資産	249 億円	7.3 億円
合計	390 億円	11.5 億円

## 3. 公共施設等の管理に関する基本方針

### 点検・診断等の実施方針

#### 基本方針 1

- 各種点検等により安全性や老朽化の状況等を適切に把握
- 点検、診断等の結果を記録・蓄積し、繰り返し実施するメンテナンスサイクルの構築

#### 基本方針 2

- 損傷等が軽微である初期段階から予防的な維持管理を行う長寿命化型の対策
- 緊急性や施設の重要性から優先順位を定めて更新等の時期を調整、財政負担を平準化

#### 基本方針 3

### 安全確保の実施方針

- 点検・診断等で把握した状態に対して必要な更新等を実施して、施設の安全を確保
- 供用廃止した施設のうち転用や売却が困難な公共施設は原則解体・撤去として安全を確保

#### 基本方針 4

### 耐震化の実施方針

- 町民の安全・安心を確保する総合的な耐震・安全対策の推進
- 災害時の救援活動・緊急輸送道路等に利用されるインフラ資産の計画的な耐震化

#### 基本方針 5

### 長寿命化の実施方針

- 予防保全型の維持管理による公共施設等の長寿命化の推進、トータルコストの縮減
- 長寿命化計画に基づくメンテナンスサイクルの運用、トータルコストの縮減・平準化

#### 基本方針 6

### ユニバーサルデザイン化の推進方針

- 高齢社会に備えた、誰もが安全に安心して活動し、社会参加できる生活空間の形成
- 公共施設等の整備・更新等のタイミングにおけるユニバーサルデザイン化の推進

#### 基本方針 7

### 統合や廃止の推進方針

- 施設の老朽化や利用者ニーズの変化に対応した公共施設等の適正配置、財政負担の軽減
- 民間施設の代替利用等による民間活力の積極的な導入

#### 基本方針 8

### 総合かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- 全庁的な体制を構築、部局横断的な推進体制による公共施設等の管理の適正化
- 他の地方公共団体等と連携して更新等の取組の実効性を高め、本計画を推進

## 4. 個別施設の取組状況

- 総合管理計画で定めた施設類型毎の管理に関する基本方針に基づき、個別施設毎の具体的な対応方針を定めた個別施設計画の策定状況は下表のとおりです。
- また、個別施設計画においては、それぞれの施設の保有状況や施設特性に応じた行動計画を定め、効率的・効果的な維持管理に資する取組を推進しています。

区分	分類	計画名称	策定期期
公共施設	◆ 行政系施設 ◆ その他施設	川辺町個別施設計画（町長部局）	令和 2 年 3 月
	◆ 学校教育系施設 ◆ 子育て支援施設 ◆ 町民文化系施設 ◆ スポーツ・レクリエーション施設	川辺町個別施設計画（教育委員会部局）	令和 2 年 3 月 令和 4 年 3 月 一部改訂
	◆ 公営住宅	川辺町町営住宅長寿命化計画（改定）	令和元年 11 月
インフラ資産	◆ 道路	—	—
	◆ 橋りょう	川辺町橋梁長寿命化修繕計画 長寿命化修繕計画（個別施設計画）	平成 29 年 1 月 令和 3 年 3 月
	◆ 上水道	川辺町水道事業経営戦略	平成 30 年
	◆ 公共下水道 ◆ 農業集落排水	川辺町下水道事業経営戦略プラン 川辺町農業集落排水事業経営戦略プラン	平成 29 年 3 月
	◆ 公園	—	—

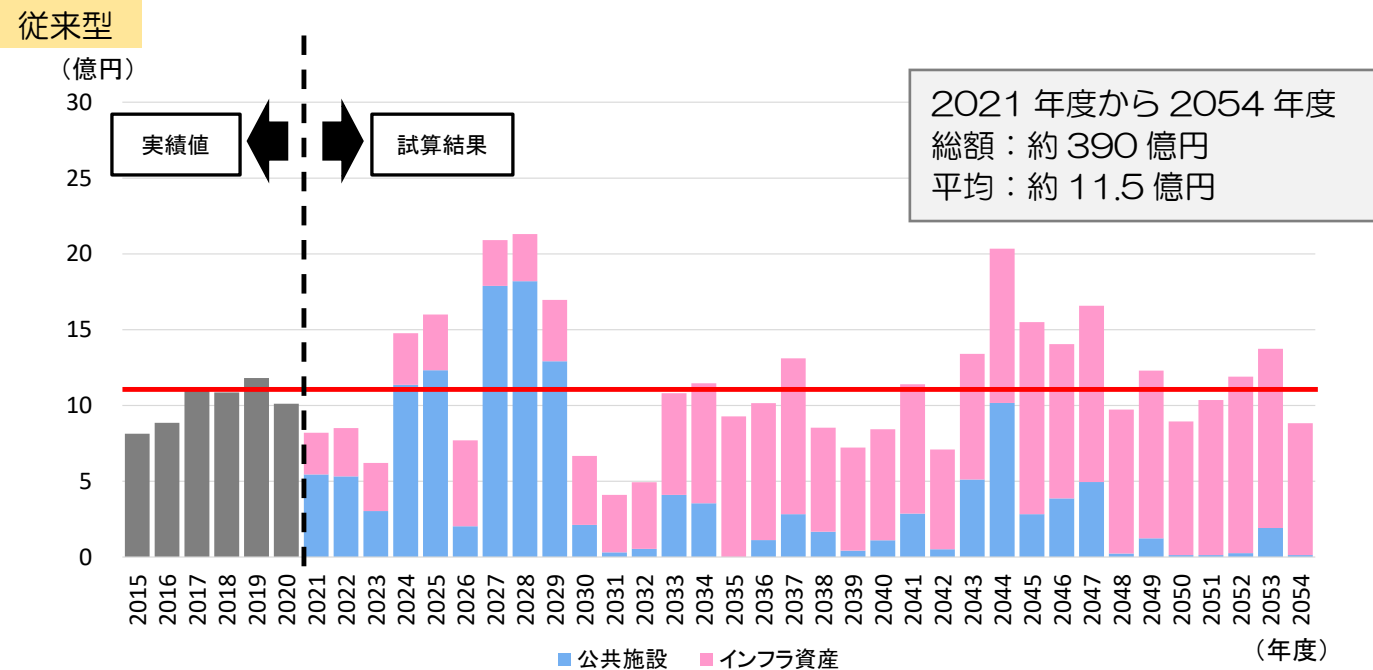
【凡例】 —：関連計画未策定

# 川辺町公共施設等総合管理計画改訂版の概要

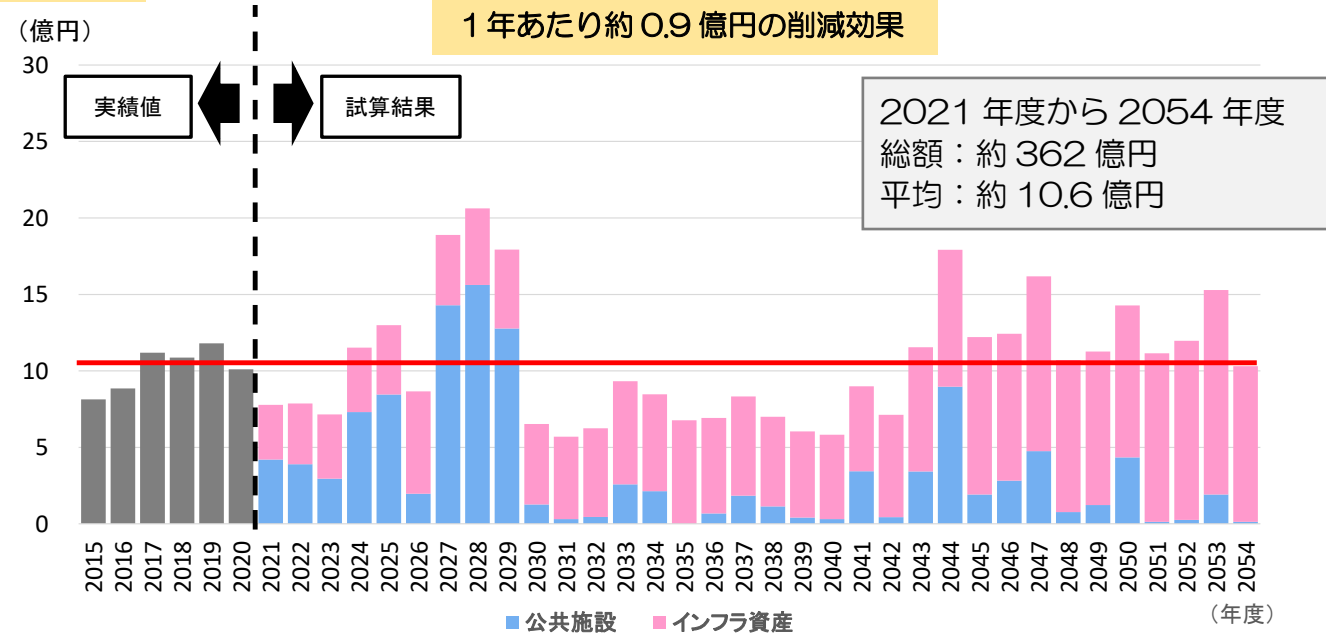
## 5. 公共施設等に係る更新等費用の推計

### (1) 長寿命化による対策効果

現在の公共施設等をそのまま保有し続け、損傷がある程度進行してから修繕等を行う従来型の維持管理を行った場合の今後の更新等費用の見通しは次の従来型のとおりとなります。一方で、公共施設等に予防保全型による維持管理を行い、長寿命化を推進した場合の今後の更新等費用の見通しは次の長寿命化型のとおりとなり、更新等費用のトータルコストが縮減され、年平均約 0.9 億円の縮減効果が期待されます。



### 長寿命化型 (Long-life Type)



#### 【更新等費用の試算方法】

〈従来型〉

従来型の維持管理を行い、法定耐用年数程度の利用後に更新を実施したと仮定して更新等費用を算出しています。

〈長寿命化型〉

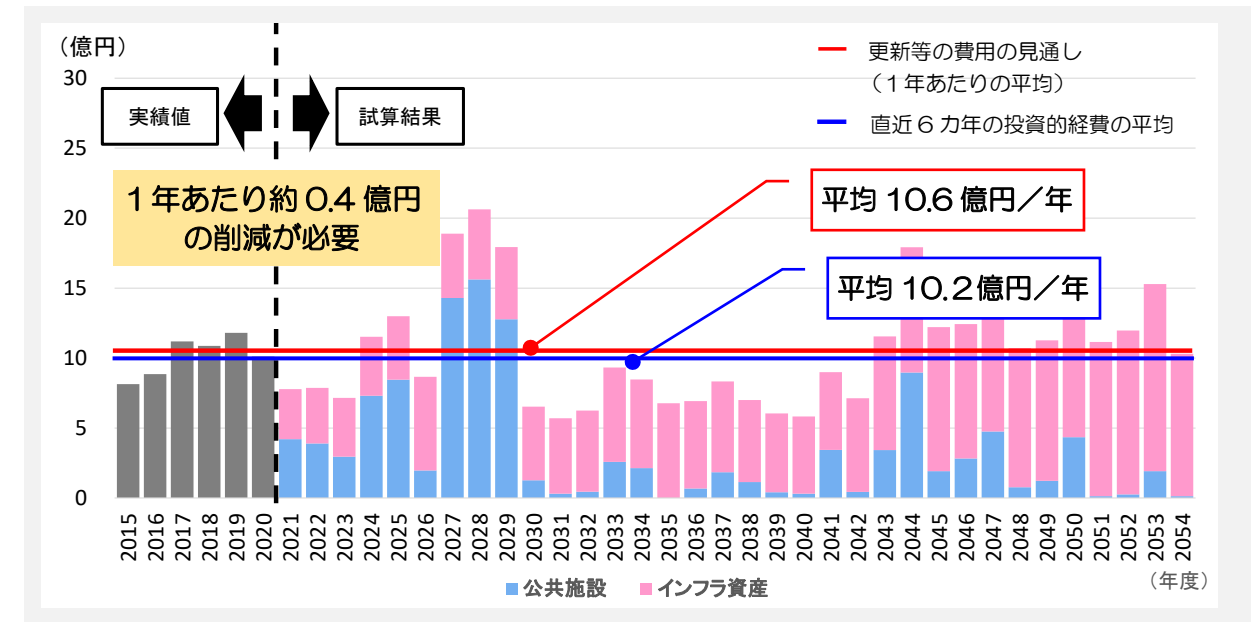
個別施設計画で定める長寿命化の対策を行った場合の更新等費用の見通しの算出結果を集計しています。個別施設計画の中で修繕計画が作成されていない場合は、従来型の試算結果を反映しています。

### (2) 更新等費用の今後の見通し

今後、長寿命化を推進した場合の更新等費用の見通しと、更新等に充てることができる投資的経費(2015年度から2020年度までの実績値)を比較すると次のとおり、1年あたり約0.4億円、更新等費用の見通しが投資的経費を上回る想定となります。

今後、財政状況は厳しさを増していくなか、公共施設等のサービス水準を維持していくためには、公共施設等の長寿命化とあわせて、計画的・効率的な維持管理が求められます。

長寿命化によるトータルコストの縮減とあわせて、統廃合等による公共施設の保有量の適正化、維持管理費の合理化、民間活力の活用など更なる取組を推進していきます。



## 6. 計画の推進に向けた取組

### ■ 計画推進のマネジメント

本町の公共施設等を取り巻く課題に対して、個別施設計画における長寿命化に資する取組等を本計画に適宜反映させ、継続的な見直しと計画の充実を図るPDCAを繰り返す、計画的かつ効率的に公共施設等の総合的適正管理の取組を推進していきます。

### 【総合管理計画の推進に向けた取組】

- 全庁的な取組体制の構築
- 公共施設等の情報の管理・集約
- 保有する財産(未利用資産等)の活用
- 町民との協働
- 脱炭素社会の実現
- SDGsの推進

